

がんのリハビリテーション・リンパ浮腫診療研修会

外来がんリハビリテーション診療・栄養管理

～ 外来がん薬物療法中の患者の
「治療を続ける力」と「生活」を多職種で支える ～

2026年

11.14 土 14:00～16:45

事前予約

参加無料

オンライン開催
(Zoomウェビナー
によるライブ配信)

研修趣旨

がん薬物療法の外来化が進む中、患者は治療を受けながら日常生活を継続することが求められています。一方、全身倦怠感、食欲不振、体重減少、身体活動量の低下、サルコペニア・悪液質、摂食嚥下障害、がん治療関連の末梢神経障害や認知機能障害など、治療継続や生活の質に影響するさまざまな問題が生じます。

本年度の研修会では、研究班の課題のうち「外来がんリハビリテーション・栄養管理」をテーマにしました。腫瘍内科、リハビリテーション医学、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、栄養管理の各視点から、外来がん薬物療法中の患者を「いつ、どうやって拾い上げるか」「何を評価するか」「どのように実践するか」「誰につなぐか」を具体的に共有します。さらに限られた人員・時間・制度の中で、多職種連携をどのように日常診療へ実装するかを議論します。

本研修の到達目標

- ・ 外来がん薬物療法中の患者に生じやすい身体機能低下、低栄養、サルコペニア・悪液質等の課題とリハビリテーション診療・栄養管理の意義を理解する。
- ・ 外来で見逃さないためのスクリーニング・評価項目と紹介を検討するタイミングを整理する。
- ・ 各専門職が担う評価・実践と多職種間で共有すべき情報を理解する。
- ・ 外来診療の流れの中で実行可能なリハビリテーション診療・栄養連携の形を考える。
- ・ 自施設で「まず一つ始める」ための具体的な改善点を持ち帰る。

主催 令和8年度(2026年度)厚生労働科学研究費補助金
(がん対策推進総合研究事業) がんのリハビリテーション、およびリンパ浮腫診療の一層の推進に資するエビデンス構築のための研究班 (研究代表者:辻 哲也)

協力 がんのリハビリテーション・リンパ浮腫診療ネットワーク
コンソーシアム

お申込みはこちらから
<https://lpc.or.jp/cre/event/>

申込期間:
9月15日(火) ～ 11月8日(日)



対象者

本セミナーは、外来がん薬物療法、支持療法、リハビリテーション診療、および栄養管理に関心のある医療・福祉従事者を主な対象としています。医師 / 看護師 / 薬剤師 / 理学療法士 / 作業療法士 / 言語聴覚士 / 管理栄養士 / 医療ソーシャルワーカー (MSW) / 相談支援・地域連携担当者 等

プログラム

14:00-14:10	オープニング	がんのリハビリテーション診療・栄養管理 — 本研修のねらいと研究班の取り組み 辻 哲也 (研究代表者/慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室)
14:10-14:25	基調講演	国のがん対策の方向性(仮題) 松浦 朋美 (厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課)
14:25-15:50	シンポジウム	外来がん薬物療法中の患者を多職種でどう支えるか — リハビリテーション診療・栄養管理を中心に — ・治療継続を支えるリハビリテーション診療・栄養管理 腫瘍内科医の立場から 勝島 詩恵 (関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科) ・外来がんリハビリテーション診療をどう組み立てるか — 適応判断・リスク管理・多職種連携 リハビリテーション科医の立場から 宮田 知恵子 (国立がん研究センター東病院 リハビリテーション科) ・身体活動の維持・向上と運動療法 理学療法士の立場から 福島 卓矢 (関西医科大学 リハビリテーション学部) ・治療と生活・就労の両立を支える 作業療法士の立場から 櫻井 卓郎 (国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室) ・「食べる」を支える — 摂食嚥下から栄養への橋渡し 言語聴覚士の立場から 杉森 紀与 (東京医科大学病院 リハビリテーションセンター) ・低栄養・サルコペニア・悪液質をどう見つけ、どう支えるか 管理栄養士の立場から 斎野 容子 (がん研究会有明病院 栄養管理部)
15:50-16:00	休憩	
16:00-16:10	指定発言	患者団体の立場から 広瀬 眞奈美 (一般社団法人キャンサーフィットネス)
16:10-16:40	質疑応答・ディスカッション	外来がんリハ・栄養管理をどう実装するか — 誰が拾い、誰につなぎ、どう支え続けるか — 司会:辻 哲也 シンポジウム登壇者全員
16:40-16:45	クロージング	辻 哲也 (研究代表者)

【お問い合わせ】

令和8年度(2026年度)厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)
がんのリハビリテーション、およびリンパ浮腫診療の一層の推進に資するエビデンス構築のための研究 研究班事務局
メール: ganreha.kaken@sc.lpc.or.jp 電話: 03-3265-1907(平日9:00~17:00)